

第3回半田市議会定例会文教厚生委員会委員長報告書

当文教厚生委員会に付託された案件については、6月23日、午後1時から、全員協議会室において、委員全員出席のもと慎重審査しましたので、その経過と結果をご報告申し上げます。

初めに、議案第44号中、当委員会に分割付託された案件については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

放課後児童健全育成事業について、委託料の指導員処遇改善分は新規事業か。またすべて愛知県の補助金で実施するのか。とに対し、

今年度、新たに追加対象となった事業です。また財源は国・県・市それぞれ3分の1ずつの負担割合で事業を実施します。とのこと。

生活困窮者自立支援事業について、準備として庁内体制の整備や関係機関また地域のネットワーク構築等とあるが、具体的な内容は。とに対し、

ネットワーク構築を進める機関として、ハローワーク、民生委員、社会福祉協議会及び地域のボランティアの方などを想定しています。また、庁内体制の整備として、例えば、税金や水道料金の滞納のある家庭などでは生活困窮に陥っている可能性も考えられますので、福祉分野のみならず収納課や水道部、商工観光課等との庁内連携を図ってまいります。とのことでした。

その後、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第47号については、補足説明の後、慎重審査し、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり可と認めることに決定しました。

次に、議案第48号、議案第49号、及び議案第50号については、一括議題とし、補足説明の後、慎重審査し、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり可と認めることに決定しました。

次に、議案第51号については、補足説明の後、慎重審査し、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり可と認めることに決定しました。

次に、議案第55号中、当委員会に分割付託された案件については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

今回、増額となった大きな要因は何か。とに対し、

現在の建設業界では大型事業が多く発注されている状態です。今回の増築工事が小規模であり、材料費、人件費ともに割高になっていますが、基本的には材料不足による資材の高騰が主な要因であると考えております。とのこと。

予算を増額することについては、適正な金額と考えているか。また入札方法に変更はあるか。とに対し

小規模工事のため、積算にあたっては工種ごとに専門業者から現況に応じた見積もりを徴収し、本市として適正な設計金額と考えております。また当初は指名競争入札でしたが、今後は、補正予算を組み増額することにより、制限付き一般競争入札となります。とのこと。

入札が不調になったことにより、設計及び仕様の変更はあるか。とに対し、

設計の内容については変更ありません。仕様については、鉄骨の加工精度を一段階下げた見直しをしましたが、安全性や利便性への影響はありません。とのことでした。

その後、討論を省略し、挙手により採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

以上、ご報告申し上げます。